

全国学力・学習状況調査の結果より

新小学校 重点推進委員会

全国学力・学習状況調査とは、全国の小学校6年生、中学校3年生を対象に行われ、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析する調査です。学校における教育指導の充実や児童の学習状況の改善に役立てることを目的としています。

本校においても、6年生が4月に国語、算数、理科の調査を受けました。その結果を分析し、傾向をまとめました。

1 国語科

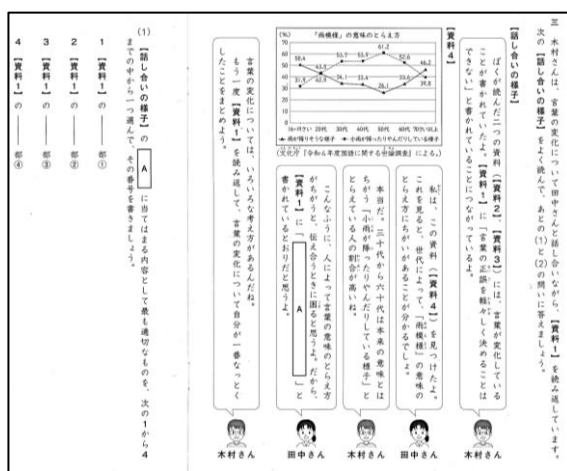
「知識・技能」（言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項）は全国、京都府よりも高く、「思考力・判断力・表現力」（話すこと・聞くこと）については、全国、京都府と変わらない正答率になっています。

一方、正答率が低い問題に着目すると、

- ・情報を集めて分類・関係づけること（資料①）
- ・目的や意図に応じて書くこと（資料②）
- ・文章と図表を結びつけたりすること（資料③）

が課題となっています。

子どもたちが学習の中で、条件に合わせて新聞や本などを活用して書いたり、話し合い活動の場面で図表を用いて考えを整理したりすることで、目的に応じて考える力や書く力を身に付ける必要があると考えています。



資料①

1 読んでほしい理由を明確にして、時短の流れに沿って書いている。

2 伝えたいことの中心を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いている。

3 文章の断絶が著しく、一連の断絶をうまくかかっている。

4 読み手の目的に応じて読むように、使いの手順に沿って書いている。

二 山田さんは、この本を「読む」として、読む理由を明確にして、時短の流れに沿って書いている。また、伝えたいことの中心を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いている。また、文章の断絶が著しく、一連の断絶をうまくかかっている。また、読み手の目的に応じて読むように、使いの手順に沿って書いている。

【暮らし】

手ぬぐい

手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。そのよさは、どのようなものですか。

【よさ1】もよう
さまざまなよさがあり、好きなよさを選ぶことができます。おもしろいものがあります。

【よさ2】使い方
手などをふくだけでなく、身に巻いたり、物を包んだりすることもできます。

【よさ3】洗い方
手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

資料②

【おもしろい】

【おもしろい】の理由を整理して、わかりやすく書くこと（2文でなくてもよい）

○ 六十文字以上、百文字以内で書くこと

【おもしろい】の理由を整理して、わかりやすく書くこと（2文でなくてもよい）

○ 六十文字以上、百文字以内で書くこと

資料③

【調べたこと】

（本を読んで分かったこと）

- ブックカバー
- 付箋が貼るだけで、すぐに完成する。
- 本の大きさに合わせて貼ることができる。
- ペットボトルのキャップ
- ペットボトルのキャップ
- 水で洗えば汚れが落ちてくる。
- 温かい飲み物が冷めにくくなる。

（使ってみて分かったこと）

- ブックカバー
- よごれがつかないで、きれいなまま使える。
- 付箋が貼るだけで、すぐに完成する。
- 本の大きさに合わせて貼ることができる。
- ペットボトルのキャップ
- 水で洗えば汚れが落ちてくる。
- 温かい飲み物が冷めにくくなる。

（資料：国立教育政策研究所 HP より）

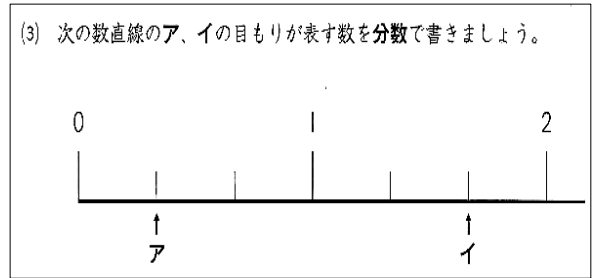
また、問題文の問いを正確に読み取り、「何が問われているか」を理解した上で適切に答える力を身に付けることも重要です。そのため、日々の授業で問いの読み取りや、目的に応じた答え方を意識的に指導していきます。目的や問いを明確にして、自分の意見を的確に書いたり話したりできるよう継続した授業改善を行っていきます。

2 算数科

「知識・技能」の問題は約70%に達し、朝学習等、学力向上に向けた取組の成果が見られ、全国、京都府よりもやや高い正答率になっていました。

一方、正答率が低い問題に着目すると、

- ・数直線上に示された分数を書くこと（資料①）
 - ・式や数字、数の関係性を使って説明すること（資料②）
 - ・資料から読み取ったことをもとに説明すること（資料①）
- など、「思考力・判断力・表現力」に関する問題に課題が見られました。



資料①

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。

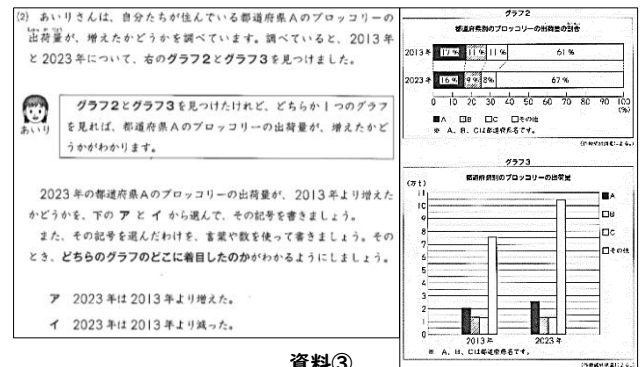
ひろと

$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の3個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の2個分です。
もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

資料②



(資料:国立教育政策研究所 HP より)

各学年で学習する数や図などの意味について系統的に理解できるように授業展開の工夫をしていく必要があります。また、例文や文型を提示しながら記述式の解答方法を習得するための方法を授業の中で取り入れることで数字や式、数量関係を使った記述に慣れていくことが必要です。さらに定期的な学習の振り返り(朝学習・宿題)・授業の中で課題解決型の学習、対話型の学習を行っていくことで、理由や根拠を人に伝える力を身に付けていくことができると考えています。子どもたちにとって、算数的な見方・考え方を働かせて課題解決できるよう授業展開の工夫をしていきます。

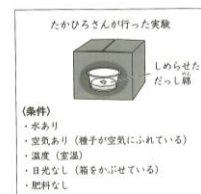
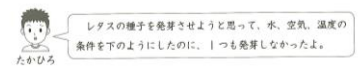
3 理科

「知識・技能」の問題では、63.5%、「思考・判断・表現」の問題では、65.6%となっており、それぞれ全国、京都府よりも高い正答率になっています。

一方、正答率が低い問題に着目すると、

- ・実験をもとに新たな問題を見つけ、文章で表記すること（資料①）
 - ・ものの性質を理解すること（資料②）
 - ・たくさんの情報の中から実験の方法を発想すること（資料③）
- が課題となっています。

たかひろさんたちは、レタスの種子を発芽させようとしています。



水、空気、温度のほかにも、レタスの種子が発芽するために、必要な条件があるのかもしれない。レタスの種子が発芽するために必要な条件を、上の(条件)の中から1つ選んで調べてみたい。

てるみ

(4) てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけた。てるみさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。

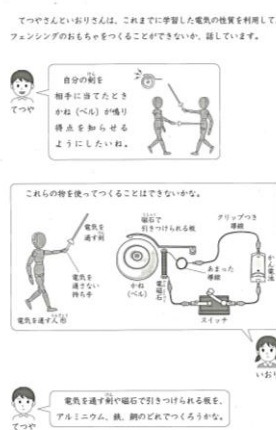
資料①

知識として習得するだけでなく、実生活と関連させながら考えさせたり、身近なものを使って実験を行ったりすることで、ものの性質を理解し、実験の方法を導き出す力を養っていきたいと考えています。

また、単元の中で習得した言葉を使いながら、意図に応じて自分の考えを文章で書き表していくためには、「なぜ」という疑問や「どうなるのか」という予想、結果から分かることを自分の言葉で表現する習慣を身に付けていく必要があると考えています。子どもたちが「知りたい。」「やってみよう。」と好奇心を持ちながら学習できるような授業改善を行っていきます。



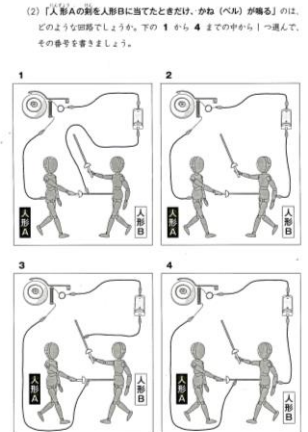
資料②、資料③に関する情報



資料②



(資料：国立教育政策研究所 HP より)



資料③

4 質問紙による調査について

○基本的な生活習慣 … 基本的な生活習慣に関わる質問事項は、ほとんどの項目で肯定的な回答が多く、概ね生活習慣を整えながら生活できていると感じている児童が多いようです。

○学習習慣・学習環境等… 学校の授業時間以外に1日当たりどれくらいの時間、勉強しているかという項目をみると、30分から2時間までの家庭学習の時間が多いようです。また、パソコンやタブレットなどのICT機器を学習に使っている児童も多岐に分かりました。本校でも一人一台、タブレット端末が貸与されたこともあり、授業の中での活用も増えています。今後ますますタブレットやスマホの活用が増えていくことが予想され、情報モラルについての教育が学校、家庭と継続しておこなっていくことが大切であると考えています。

5 まとめ

今回の結果や分析から、「要点をまとめる」「目的や意図に応じて説明する」「文章で表現する」という項目が苦手であるということが分かりました。今後児童一人一人の基礎学力の定着のために、ICT機器の効果的な活用や身に付けたい知識・技能を明確にした単元デザインの作成等、より一層の授業改善を行っていきます。また、学校での学習を積み重ねていくためにも、朝学習や家庭学習を工夫し、家庭との連携をはかっていきます。以上のことをふまえ、今後もよりよい学校教育の実現に向けて努めていきたいと考えています。今後とも学校教育の推進にご理解・ご協力をお願いいたします。